

「うれしい出来事」

校長 石橋 充久

昨年より25日早い梅雨入りとなりました。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止から、緊急事態宣言が6月20日まで延長になり、学校生活への様々な制限が続いています。このような状況下でも、生徒たちの元気に活動している姿には、教職員一同、非常にうれしく思います。

このような状況ではありますが、うれしい出来事をご紹介します。それは、5月27日の豪雨の登校時に、さすが一中生と思える出来事です。雨の中転倒して泣いていた小学生を、4人の女子生徒が抱きかかえて、小学校まで送ってくれたのです。4人の生徒の制服は、雨でぬれていたもので、登校後すぐに体操服に着替えて授業を受けました。また、翌日にも登校中に泣いている小学生に優しく声をかけた一中生がいました。困っている人を見て、自分にできることを考えて行動していることに、一中生の良さを改めて知ることができました。

これからの時代に求められるものとして、「自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、判断して行動し、よりよい社会や人生を切り開いていく力」があります。例えば、社会生活においては、周りとのかかわりを意識し、受け身ではなく、進んで考え行動できる力が必要になってきます。今回の出来事を通じて、一中生は、着実に社会の担い手として成長していることを実感することができました。

さて、世間では、ようやくワクチンの接種が始まりました。ワクチン接種による新型コロナウイルス感染症の鎮静化への期待は、かなり高いものがあります。今回のワクチンは、mRNA ワクチンといわれるもので、従来のワクチンとは全く違った方法で開発されたものです。このmRNAワクチン開発には、ノーベル賞候補の呼び声も高いハンガリー出身の女性研究者、カタリン・カリコ氏の研究が大きく関わっています。カリコ博士は、iPS細胞研究で有名な山中伸弥さんの研究が自分の研究の転機となったと話されています。彼女は、ハンガリーから片道切符で渡米したのですが、なかなか研究が認められず、予算のカットや降格などの壁を乗り越えながら現在に至っています。彼女のおかげで、現在のワクチン接種というトンネルの出口が見えてきたのだと痛感しました。

カリコ博士や山中伸弥をめざすのではなく、自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、判断して行動し、よりよい社会や人生を切り開いていこうという姿勢を持つことをめざしていくことが重要なのではないのでしょうか。

今後もまだまだ試練の時は続きますが、この気持ちを忘れずに前進していきましょう

部活動等の記録

・女子テニス部 春季豊能地区大会 シングルの部 第3位 M・Y

ベスト16 半田 悠

ダブルスの部 ベスト8 H・A H・Mペア

// W・K S・Rペア

// S・S S・Kペア

// I・R A・Sペア

ベスト16 佐伯 ななみ・前野 藍ペア



・歯っぴい健康フェスタ「標語コンクール」 入賞 G・R

6月の行事予定

学:学活 道:道徳 総:総合

日	曜	行事予定	SC	給食
1	火	1～3限:体カテスト・学・A火5～6		○
2	水	水1～5・道		○
3	木	(1年)木1～6 (2・3年)木1～5・特別時間割		○
4	金	金1～5・学		○
5	土			
6	日			
7	月	月1～6		○
8	火	道・B火2～6		○
9	水	【50分×5限+45分】水1～5・学(終礼込み)		○
10	木	(1年)木1～6 (2・3年)木1～5・特別時間割		○
11	金	金1～5・総(避難訓練・i-check)		○
12	土			
13	日			
14	月	【テスト校時】 (1・2年)【5限授業】特別時間割 (3年)期末考査	○	○ 3年×
15	火	【テスト校時】(1～3年)期末考査		×
16	水	【テスト校時】(1～3年)期末考査		○
17	木	道・A火2～6		○
18	金	【45分×5限+50分】(1・2年)水1～5・学 (3年)水1～5・総(オンライン進路学習参観)		○
19	土			
20	日			
21	月	【45分授業】月1～6	○	○
22	火	【50分×4限+45分×2限】(1・2年)道・B火3・4・5・2・6 (3年)道・B火3・4・5(午後)特別時間割(テスト返却)		○
23	水	【45分授業】特別時間割(テスト返却)		○
24	木	【45分授業】(1年)木1～6 (2・3年)木1～5・金1		○
25	金	金1～5・木5		○
26	土			
27	日			
28	月	【5限授業】水1～5(終礼5分)	○	○
29	火	【50分×4限+45分×2限】道・A火2～6(終礼5分)		○
30	水	【45分授業】月1～6		○

【ご注意】

既にお知らせを配付しておりますが、緊急事態宣言の発出・延長に伴い、年度初めにお配りした年間行事予定に変更が生じております。特に、体育祭の延期、期末考査の実施日にご注意いただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、例年であれば1学期の終わりごろから水泳の授業が始まりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、内科検診や心臓検診(二次検診)が遅れたため、2学期の実施となります。水着の販売については後日ご連絡します。

裏へ続く

◆道徳の授業【1年生】のひとコマ◆

学習指導要領(学校がカリキュラムを編成する際の基準)に「学校における道徳教育は、特別の教科である道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり…」と記されています。道徳教育の目標である「道徳性の育成」の中心となるのが「道徳」の時間ということになります。では「道徳性」とは?「人間としてよりよく生きようとする資質」であり、「よりよく生きる」ということには一つの明確な正解があるわけではないため、さまざまな教材(資料)を使いながら深く考え、自己を見つめ直す時間を積み重ねることを大切にしています。

写真の授業は『ひまわり』という資料を使って「生命の尊さ」を学ぶ授業です。最初に竹内まりやさんの『いのちの歌』という曲が流れた時には、なんとも言えないしっとりした空気が漂いました。資料『ひまわり』は、陸上自衛官の佐々木さんが、東日本大震災によって中学2年生の娘さんを含め家族全員を失い、失意の中にありながら語り部を続けていらっしゃるという内容です。「皆さんの幸せとは何ですか?」この問いかけからいつも語りを始めるそうです。竹内まりやさんの歌にはこんなフレーズがありました。「本当にだいじなものは隠れて見えない ささやかすぎる日々の中に かけがえない喜びがある」・・・このコロナ禍において、私たちも今まさに日常という「ささやかな生活」に喜びを感じながら生きているのではないのでしょうか。



(今後も各学年の取り組み等を紹介していきます)



生徒玄関に何枚かの絵画が掲示されています。左の絵は「新学期」という題名。今年度は無事入学式・始業式を迎えられ、この絵のような素敵な笑顔に触れられてうれしい毎日です。